

がん化学療法レジメン

対象疾患	レジメン名			申請日	2011/5/6
非ホジキンリンパ腫	リツキシマブ単独療法			申請医師名	今村 朋之
FNリスク	不明	催吐リスク	最少度	確認医師名	佐藤 昌彦
				登録日	2011/5/7
				改定日	2021/1/28

Rp	薬剤名 (対応する先発医薬品名)	投与量	投与方法	投与時間	投与日	危険度 (分類)
Rp.1	リツキシマブ(リツキサン) 生理食塩液	375mg/m ² 500ml (1mg/mlに希釈)	点滴静注	25~200 ml/hr	d1	— [分子]

1コース						7日以上						総コース数								4~6								
Rp	d1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	●																											

特記事項

➤ 投与上の注意点

- ・ リツキシマブはリツキサン、リツキシマブBSのどちらでも良く、初回投与時、最初の30分は50mg/時の速度で点滴静注を開始し、患者の状態を十分観察しながら、その後注入速度を30分毎に50mg/時ずつ上げて、最大400mg/時まで速度を上げることができる。
また2回目以降の注入開始速度は、初回投与時に発現した副作用が軽微であった場合、100mg/時まで上げて開始し、その後30分毎に100mg/時ずつ上げて、最大400mg/時まで上げることができる。なお患者の状態により、注入開始速度は適宜減速すること。

➤ 副作用対策

- ・ Infusion reaction(発熱, 悪寒, 頭痛等)を軽減させるためにリツキシマブ投与の30分前には解熱鎮痛剤【ロキソプロフェン錠60mg(ロキソニン60mg)】や、抗ヒスタミン剤【オロパタジン5mg】(アレロック5mg)等を服用すること。

参考文献

- ・ 岡元るみ子ら, がん化学療法副作用対策ハンドブック 第3版
- ・ 遠藤一司, 加藤裕芳, 松井礼子, がん化学療法レジメンハンドブック 第6版